

国際交流員ザブリナー・リンのコラム

ドイツの父の日 Vatertag



ドイツにも父の日があります。ドイツ語で「Vatertag」(ファーターターク)といいます。その日に行われる変わった習慣がありますので、お教えしたいと思います。

父の日と言っても、父親に感謝を表す日というよりは「男のための日」です。はっきり言えば、父親を含む男性たちが飲んで騒ぐ日です。またこの日はイエス・キリストが昇天したことを祝う「昇天日」でもあり、キリスト教の祝日です。イースターの復活祭から数えて、6回目の日曜日が過ぎた木曜日です。復活祭と同じく毎年日には変わります。今年は5月25日でした。

祝日の過ごし方

もちろん人によって違いますが、基本的に次のように一日を過ごします。早起する必要がある祝日なので、まずはゆっくり朝寝坊をします。そして、若者から年配者まで、多くの人がグループで集まって、大きな公園や森林で散歩をし



@ Wikipedia

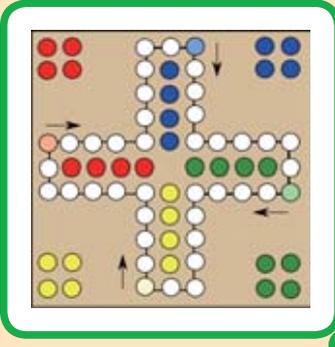
ます。男子だけのグループがある一方、恋人や家族と一緒にこの日を祝う人もいます。大半の人々はただの散歩では終わりません。

その後欠かせないものが、手押し荷車に山盛りに乗せてきたビールなどのお酒やつまみです。宴会が始まるとみんな段々と酔いはじめ、騒ぐ人も少なくはありません。飲みながら、ポータブル・ラジオやCDプレイヤーで音楽を聞いたり、歌ったり、歩き回ったりします。

グループで作ったお揃いのTシャツを着ている人も目に入ります。言うまでもなく、みんなお酒を飲めば飲むほど元気になり、テンションが高くなりますが、カーニバルのような特別な日なので、周りの人は全然気にしません。最後に、公園でバーベキューやピクニックをしたり、ビアガーデンやレストランでご飯を食べたりします。

父の日のルーツ

一般的に、父の日はアメリカにルーツがあると言われています。アメリカでは、日本と同じように父親へ感謝を表す習慣があります。現在のドイツにおける父の日の変わった過ごし方は、19世紀末にベルリンの辺りで生まれ、当時は男性の若者に男らしさを教える目的で行われていたそうです。それが年月が経つとともに形を変え、現在の習慣ができあがりました。



@ Wikipedia, ドイツのボードゲーム

国際交流員コン「お父さん箱」 第25回 ドイツのボードゲーム

今回のびっくりン箱では皆さんにドイツの人気のボードゲームを紹介したいと思います。そのゲームの名前は「Mensch ärgere Dich nicht」(メンシュ エルゲレ ディヒ ニヒト)、日本語では「イライラしないで」という意味です。ドイツだけではなく、世界にも知られているゲームだそうです。ちなみにドイツで発明されているボードゲームが毎年結構あり、評価が高いそうです。

- 日時 6月22日(日) 午後2時～4時
- 場所 国分寺公民館、和室(竹)
- 定員 16名(ご相談のうえ、見学の方も大歓迎です。)
- 参加費 無料
- 子どもは保護者と同伴。6歳児以上が対象のゲームです。
- 申込期間 6月11日(水)～20日(金)
- 申し込み・問い合わせ先 生活安全課 ☎(40)55555
- ✉sia.shimotsuke@gmail.com

携帯電話
市ホームページ

■人口と世帯(5月1日現在)
人口/ 60,170人(+131)、男性/ 29,963人(+64)、女性/ 30,207人(+67)、世帯数/ 22,473世帯(+177)



PC・スマホ
市ホームページ



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎ 0285 (40) 5550 情報広報グループまでご連絡ください。